

○若者定住奨励金交付事業の見直しについて

改善(案)	意見
<ul style="list-style-type: none"> ○奨励金に自然薯 1 本を追加する。自然薯をもらっても作り方が分からない人のために、自然薯作り体験をして交流に繋げる。 ○金額を上げるのであれば、1 年の中の農産物を一つ届ける。(抽選権をいいじゃん券と一緒に送付して、何か当たるという方法もいいのではないか。) ○若者だけの対象でなくてもよいのではないか。それか「来てくれてありがとう券」に名前を変える。 ○出産祝い金又は、贈答品(おむつ等)を贈呈する。 【最低 10 万円】 ○こども園への入園時に祝い金又は、贈答品を贈呈する。 【最低 3 万円】 ○小学校への入学時に祝い金又は、贈答品を贈呈する。 【最低 5 万円】 ○中学校への入学時に祝い金又は、贈答品を贈呈する。 【最低 5 万円】 ○空き家関係の補助金の上乗せ。 ○今の事業を変える時は、今の事業は経過処置が必要。 ○今の事業に、プラス事業を加える。(出産時、進学時、就農時に追加支援をする) 	<ul style="list-style-type: none"> ○転入してきた人との交流を図りたい。外国人の方の転入も多いため、交流会等を開き、繋がりを持ちたい。 ○物価高のため金額を上げるが、単に金額を上げるのではなく、プラス何かお楽しみを付けると嬉しいのではないか。 ○若者のライフスタイルが違うため、働きに来る人、のんびり過ごしたい人等がおり、地域の人と繋がりたい人は少ないのではないか。 ○転入者の情報を知りたい。外国の人が何人で、どこから来ている等。 ○高齢者が定住した場合に対しては何かないのか。 ○作手に特化したものを作る。 ○医療従事者が定住してくれたら特典があるや、新規就農者に特典があるとか特化したもの。 ○19,000 円を目当てに定住しているとは思えない。 ○作手に住みたいと迷っている人の決めてとなるものにした。補助か事業か。またセットか。 ○空き家を活用して定住した人へのサポート的なものができるとうい。たとえば〇〇万円、片付け代などを支給。 ○通常の定住者と空き家利用の定住者を分けて支援し、空き家対策にも繋げる。 ○今の事業はこのまま継続し、新しいものを始める。 ○定住として見ると、期間的に作手住んでいる人もいる一方、新規就農など住み続けられることが見込める人では違う気がする。そういう人にスポットを当てたり、生まれた子にスポットを当てた方が有意義かと思います。 ○電子申請できるようにできるとよい。